

平成30年12月議会
第4委員会報告資料

福岡空港関連 自動車専用道路
の検討状況について

平成30年12月17日
住 宅 都 市 局

<計画案>



3. 事業による効果

(1) 空港アクセス強化

①速達性向上

現在、都市高速道路による国内線ターミナルへのアクセスは、「空港通」「半道橋」「金の隈」等を利用し一般道を経由することとなるが、都市高速道路の延伸により、所要時間は約5～10分短縮し、速達性向上が期待できる。

②定時性向上

これまで通過していた信号交差点を3～13カ所回避可能であり、空港への到着時間を予測しやすくなることから、定時性向上も見込まれる。



▲都市高速延伸による効果

(2) 周辺交差点の混雑緩和

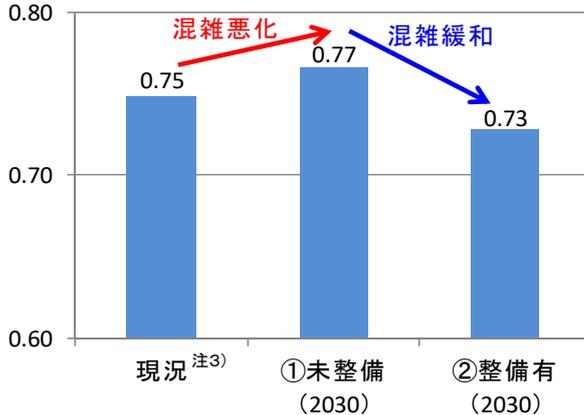
推計によれば、将来、交通量の増加が見込まれるが、都市高速道路の延伸により、主要渋滞箇所とされる交差点の混雑緩和が期待できる結果となった。

このうち、国内線ターミナルへの主な経路となっている空港口交差点については、都市高速道路を整備しない場合（①未整備）、交差点需要率^{注1, 2)}が0.77となり、混雑悪化が見込まれる。

しかし、計画案の通り都市高速道路を延伸した場合（②整備有）、空港口交差点を通過する自動車の減少により交差点需要率は低下し、当該交差点の混雑緩和が期待できる。

<空港口交差点の交通状況の変化>

(交差点需要率)



注1) 交差点需要率=流入交通量/交通容量

注2) 交通をさばくことができなくなる値は、通常0.8~0.9

注3) 現況は過去3年間 (H28~30) の平均にて算出。

4. 今後の進め方

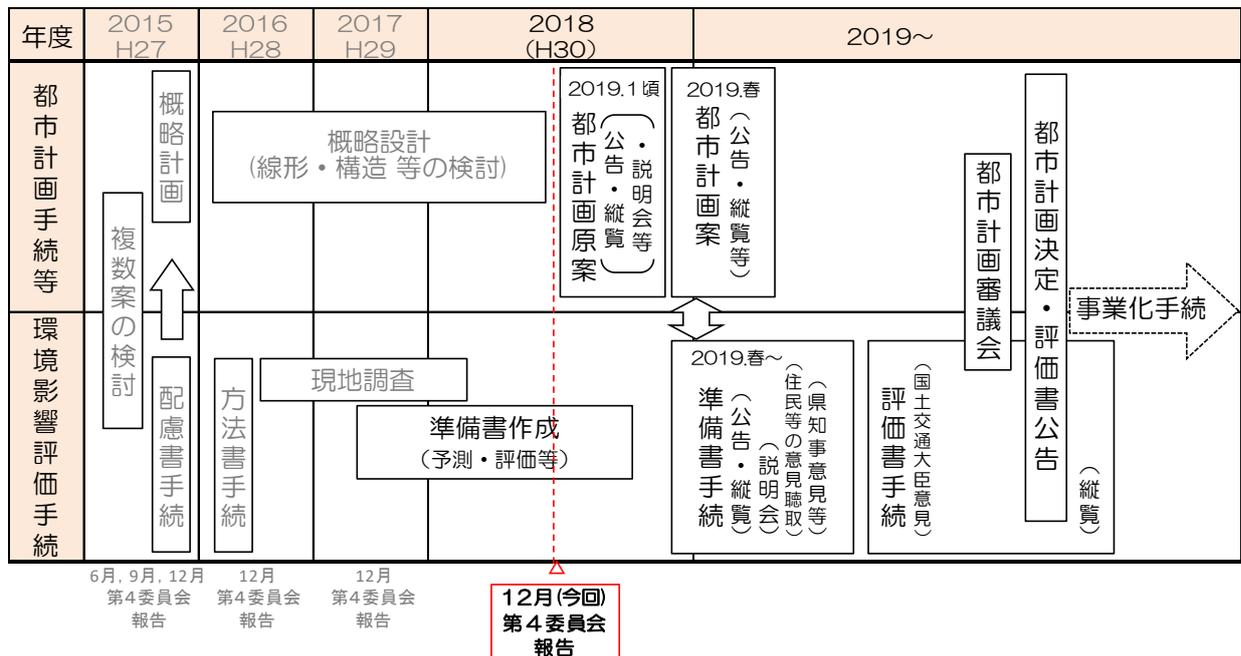
福岡空港の滑走路増設にあわせた当該道路の供用を目指し、都市計画及び環境影響評価の進め方を進める。

(1) 都市計画手続

都市計画原案の縦覧や説明会等（2019年1月頃）の後、都市計画案の公告・縦覧（2019年春）を行い、早期の都市計画決定を目指して取り組む。

(2) 環境影響評価手続

住民や福岡県知事などから意見を聴く準備書手続（2019年春～）、国土交通大臣の意見を聴き、最終的にすべての結果を取りまとめて公表する評価書手続を行う。



▲想定スケジュール